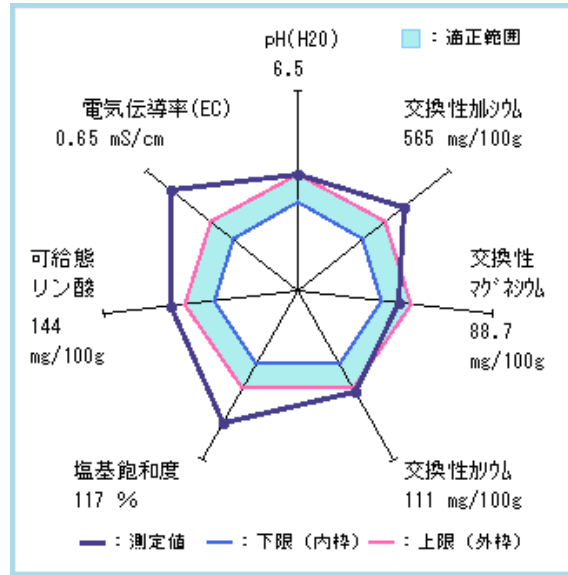


# 東京農大式土壌診断システム 土壌診断表

印刷日 2007/07/09

氏名 :  
 受付番号 :  
 圃場・ハウス名 : No. 1  
 圃場・ハウス場所 :

土壌種類 : 非火山灰土壌  
 採土年月日 : 2007年 2月 4日  
 現状作物 :  
 状況 :  
 前作物 :  
 次作物 : トルコギキョウ  
 深さ : 10 cm  
 土性 : 埴壤土  
 備考 : 作柄:悪い



土壌理化学性	単位	測定値	下限	上限
密度 (下層)	mm			22
腐植	%		3	
全窒素	%			
C/N比				
pH(H2O)		6.5	6	6.5
pH(KCl)		6.1	5.5	6
電気伝導率(EC)	mS/cm	0.65	0.1	0.3
交換性カルシウム	mg/100g	565	297	441
交換性マグネシウム	mg/100g	88.7	65.7	106
交換性カリウム	mg/100g	111	15.4	98.8
交換性ナトリウム	mg/100g	10.9		
Ca/Mg比	当量比	4.58	2.6	3.75
Mg/K比	当量比	1.87	2	12.5
Ca/K比	当量比	8.55	6.5	37.5
CEC	meq/100g	23.3		
塩基飽和度	%	117	70	90
可給態リン酸	mg/100g	144	10	100
水溶性リン酸	mg/100g	20.2		10
リン酸吸収係数	mg/100g	632		
アンモニア態窒素	mg/100g	1.07		
硝酸態窒素	mg/100g	19.2		

## 総合所見

- ・ pHは適正です。
- ・ 交換性カルシウムが過剰です。
- ・ 交換性カリウムが過剰です。カリウム施用量を減らして下さい。
- ・ 交換性マグネシウムに対してカリウムが多すぎます。
- ・ 交換性マグネシウムに対してカルシウムが多すぎます。
- ・ 塩基バランスが崩れていますので、是正が必要です。
- ・ 塩基飽和度が高すぎます。
- ・ 電気伝導率(EC)が高く、作土中には 約 19 kg/10a の硝酸態窒素が残留しています。
- ・ 次作の窒素施用量を削減して下さい。
- ・ 可給態リン酸が過剰です。リン酸施用量を減らして下さい。
- ・ 作土中には約 101 kg/10aの過リン酸石灰に相当する水溶性リン酸が蓄積しています。

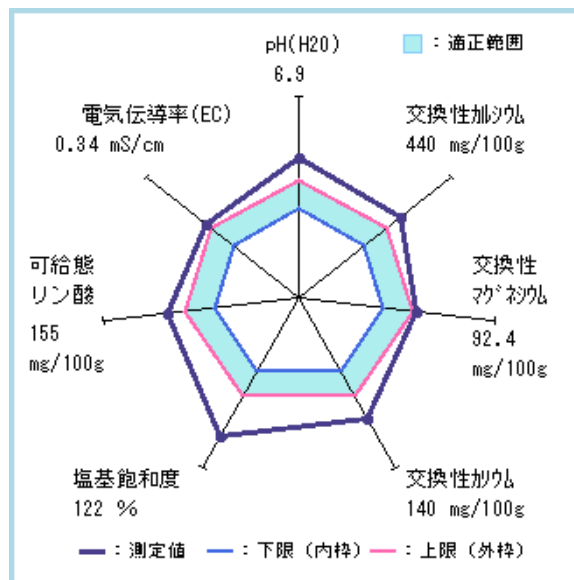
微量元素	単位	測定値	下限	上限
可給態-ホウ素	mg/kg		0.5	2
可給態-鉄	mg/kg		4.5	
可給態-マンガン	mg/kg		1	
可給態-亜鉛	mg/kg		1	
可給態-銅	mg/kg		0.2	

# 東京農大式土壌診断システム 土壌診断表

印刷日 2007/07/09

氏名 :  
 受付番号 :  
 圃場・ハウス名 : No.2  
 圃場・ハウス場所 :

土壌種類 : 非火山灰土壌  
 採土年月日 : 2007年 2月 5日  
 現状作物 :  
 状況 :  
 前作物 :  
 次作物 : トルコギキョウ  
 深さ : 10 cm  
 土性 : 壤土  
 備考 : 作柄 : 普通



土壌理化学性	単位	測定値		下限	上限
密度 (下層)	mm				22
腐植	%			3	
全窒素	%				
C/N比					
pH(H <sub>2</sub> O)		6.9	過剰	6	6.5
pH(KCl)		6.5	過剰	5.5	6
電気伝導率 (EC)	mS/cm	0.34	過剰	0.1	0.3
交換性カルシウム	mg/100g	440	過剰	249	369
交換性マグネシウム	mg/100g	92.4	過剰	55.0	88.4
交換性カリウム	mg/100g	140	過剰	12.9	82.7
交換性ナトリウム	mg/100g	17.3			
Ca/Mg比	当量比	3.43	適正	2.6	3.75
Mg/K比	当量比	1.54	不足	2	12.5
Ca/K比	当量比	5.28	不足	6.5	37.5
CEC	meq/100g	19.5			
塩基飽和度	%	122	過剰	70	90
可給態リン酸	mg/100g	155	過剰	10	100
水溶性リン酸	mg/100g	18.6	過剰		10
リン酸吸収係数	mg/100g	584			
アンモニア態窒素	mg/100g	0.72			
硝酸態窒素	mg/100g	3.62			

## 総合所見

- ・ pHが高すぎます。石灰資材を施用する必要はありません。
- ・ 交換性カルシウムが過剰です。
- ・ 交換性マグネシウムが過剰です。
- ・ 交換性カリウムが著しく過剰です。カリウム酸施用量を大幅に減らして下さい。
- ・ 交換性マグネシウムに対してカリウムが多すぎます。
- ・ 交換性カルシウムに対してカリウムが多すぎます。
- ・ 塩基バランスがかなり崩れていますので、是正が必要です。
- ・ 塩基飽和度が高すぎます。
- ・ 電気伝導率 (EC) がやや高く、作土中には 約 3 kg/10a の硝酸態窒素が残留しています。
- ・ 次作の窒素施用量を削減して下さい。
- ・ 可給態リン酸が過剰です。リン酸施用量を減らして下さい。
- ・ 作土中には約 93 kg/10a の過リン酸石灰に相当する水溶性リン酸が蓄積しています。

微量元素	単位	測定値		下限	上限
可給態-ホウ素	mg/kg			0.5	2
可給態-鉄	mg/kg			4.5	
可給態-マンガン	mg/kg			1	
可給態-亜鉛	mg/kg			1	
可給態-銅	mg/kg			0.2	